

# PET-CT検査の説明書

患者氏名

様

(カルテ番号

)

1. 予定日:      年      月      日

## 2. 検査の目的と方法:

がん細胞は正常組織に比べ、多くのブドウ糖を細胞内に取り込んで消費します。この性質を利用し、ブドウ糖が他の臓器より集まっている場所、いわゆる「がん」を発見することを目的とした検査です。ブドウ糖に放射線同位元素をくっつけた薬剤 (FDG) を注射して薬剤が行き渡るまで約1時間安静の後、20分～30分程度撮影を行います。その後放射能の量が半減するまで約40分休んで頂き検査終了になります。通常、検査全体で約3時間程度かかります。また必要に応じて、追加撮影をすることもあります。「がん」が小さくてブドウ糖の代謝が少ない場合には発見できないことがあります。また異常像の全てが「がん」というわけではありません。

## 3. 検査によって考えられる副作用と合併症:

検査において使用する薬剤 (FDG) による重篤な副作用の報告はなく、安全性の高い薬剤です。PET-CT検査では薬剤 (FDG) による被ばく線量にCT検査による被ばく線量が加わります。PET-CT検査による被ばく線量は、10ミリシーベルト前後と言われています。100ミリシーベルト未満の被ばくでは明らかな障害は認められていません。病状を正しく評価することは、被ばくによる健康への影響より有益と考えます。

## 4. その他の注意事項:

- ・ 検査前に激しい運動等をするとう筋肉に薬剤が集まり検査に支障をきたすことがありますので、検査前の激しい運動は控えてください。
- ・ 検査した日は妊婦、乳幼児との過度な接触は避けてください。また、薬剤 (FDG) を早く体外に出すよう、水分を多く摂り排尿を心がけてください。
- ・ 閉所恐怖症のある方は、事前に担当医師とご相談ください。
- ・ 検査機器の保守点検および検査薬の輸送体制には万全を期しておりますが、万一機器の故障や輸送中の事故などの際には検査ができなくなる場合があります。その場合には、時間の変更もしくは日を改めて検査させていただきますので、あらかじめご了承ください。

## 5. 他に可能な方法:

この検査は「がん」の診断に有効ですが、腎臓、膀胱等の薬剤の排泄経路で判断が難しい場合や、肝臓、胃、前立腺等はPET検査よりも超音波検査や内視鏡検査が有効なことがあります。

## 6. 放射線被ばく低減の取り組み:

当院では被ばく低減を図るため、診断参考レベルといわれる患者被ばくの最適化に使用される指標を用いて放射線量を最適化しています。安心して検査をお受け下さい。

## 7. 同意書撤回について:

同意した後であっても、実施前であれば同意を撤回することができます。同意を撤回することで不利益を被ることはありません。

## 8. その他:

検査に使う薬剤 (FDG) は当日しか使用できない高価なものです。検査キャンセル、延期などありましたら必ず検査前日までに連絡をしてください。

→札幌東徳洲会病院 放射線科 Tel011-722-1110 内線2111

様

## PET-CT検査の同意書

札幌東徳洲会病院 病院長殿

私は、下記の項目について『PET-CT検査の説明書』のとおり説明を受け、受領しました。

- ・ 予定日:       年       月       日
- ・ 検査の目的と方法
- ・ 検査によって考えられる副作用と合併症
- ・ その他の注意事項
- ・ 他に可能な方法
- ・ 放射線被ばく低減の取り組み
- ・ 同意書撤回について
- ・ その他

説明日

説明医師

印

同席看護師

私は上記内容の説明を受け、質問する機会を得ました。上記の検査に関して理解できましたので、上記の実施に、

 同意します。 同意しません。

日       時       年       月       日       午前・午後       時       分

患者氏名 \_\_\_\_\_ (自筆署名もしくは記名捺印)

※代筆した場合は代筆者の氏名 ( \_\_\_\_\_ )

代理人 \_\_\_\_\_ (続柄 \_\_\_\_\_) (自筆署名もしくは記名捺印)

代筆者又は代理人が署名した場合は、患者本人が署名できなかった理由を記載してください。

( \_\_\_\_\_ )